

つながり、ひろがる 自殺対策シンポジウム

自死は、向き合える

自殺対策の発展には、それぞれの取組や考え方から学び合う
風土づくりが大切です。自殺対策円卓会議では、
自殺総合対策大綱の見直しの議論が進められる中、
自殺対策関係者の共同シンポジウムを開催し、
地域の中でつながり、ひろがる自殺対策を提案していくこととしました。
皆さまのご参加をお待ちしております。

17:00~17:10 主催者あいさつ

17:10~17:40 基調講演「自死は、向き合える」

杉山 春（ルボライター）

17:50~19:50 シンポジウム

堀井茂男（日本いのちの電話連盟）

田中幸子（全国自死遺族連絡会）

大塚俊弘（日本うつ病センター）

大場義貴（浜松市自殺対策における多職種連携支援「絆プロジェクト」）

袴田俊英（心といのちを考える会）

指定発言者：杉山 春

小澤吉徳（日本司法書士会連合会）

座長：竹島 正（自殺対策円卓会議／全国精神保健福祉連絡協議会）

木下 浩（日本司法書士会連合会）

19:50~20:00 まとめ

杉山 春

ルボライター。『ネグレクト』（小学館文庫、小学館ノンフィクション大賞受賞）『ルボ虐待』（ちくま新書）など虐待や家族に關し執筆。月刊誌『世界』（岩波書店）で「自死は、向き合える」を連載した。

堀井茂男

（公財）慈生病院院長、岡山県精神科病院協会会长、日本精神科病院協会常務理事としての役割のほか、内観療法、アルコール医療関連、いのちの電話活動（岡山いのちの電話協会会长、日本いのちの電話連盟理事長）などでも活動している。

田中幸子

2005年長男が自死したことがきっかけで自死遺族の自助グループ「藍の会」を立ち上げ、その後「全国自死遺族連絡会」「自死遺族等権利保護研究会」を設立、2015年に自死予防のための「みやぎの萩ネットワーク」を立ち上げ活動。

袴田俊英

昭和33年、秋田県能代市生まれ。曹洞宗月宗寺住職。平成12年から自死問題に取り組み、藤里町で「心といのちを考える会」を立ち上げ、現在「秋田ふきのとう県民運動実行委員会」会長。社会福祉法人「秋田虹の会」理事長。

大場義貴

聖隸クリストファー大学准教授（臨床心理士・精神保健福祉士）・NPO法人遠州精神保健福祉をすすめる市民の会代表。浜松市自殺対策多職種連携支援推進責任者、思春期メンタルヘルスリテラシー、ひきこもり支援等研究・実践。

大塚俊弘

精神科医。長崎市生まれ、長崎大学医学部卒。1999年長崎県に入職、精神保健福祉センター所長、医療政策課長、保健所長のほか、こども女性障害者支援センター所長として児童相談所長、婦人相談所長を経験。地域精神保健の多様な現場を経験。

平成29年

2月24日(金) 17:00~20:00

衆議院第一議員会館

主催：自殺対策円卓会議 共催：全国自死遺族連絡会

協力：全国精神保健福祉連絡協議会、日本いのちの電話連盟、

日本うつ病センター、日本司法書士会連合会

参加申込み：自殺対策円卓会議

sui.entaku@gmail.com

<https://www.facebook.com/sui.entaku/>